



公益社団法人
空気調和・衛生工学会
The Society of Heating, Air-Conditioning and
Sanitary Engineers of Japan [SHASE]

令和3年度 空気調和・衛生工学会大会(福島)

新型コロナウイルス対策特別委員会主催 ワークショップ

新型コロナウイルス感染対策としての 空調・衛生設備の運用

新型コロナウイルス感染症の集団感染を発生させるリスク要因として、換気の悪い密閉空間が挙げられており、空気感染のリスク低減のために空調・衛生設備の適切な運用による介入の効果に関心が高まっている。本学会では2020年5月に新型コロナウイルス対策特別委員会が設置され、新型コロナウイルス感染症対策における空気調和・衛生設備の運用に関して主に学会ホームページを通じてタイムリーに情報を発信してきた。

本ワークショップでは、2021年4月1日に公表した「新型コロナウイルス感染対策としての空調・衛生設備の運用について」を解説するとともに、公表後の知見をアップデートする。具体的には、これまでに明らかとなっている新型コロナウイルスの特性やクラスター発生事例報告の概要を示した上で、保健医療機関から提示されているガイドランス、欧米の建築設備関連学会の推奨基準などを踏まえて、感染リスクの低減に有効となる建築設備の運用、建物用途別の留意点について今までの知見を報告する。さらにパネルディスカッションにより、今後学会として検討すべき課題について議論する。

2021年
9月15日(水)
13:30-17:00

オンライン開催

Webinarリアルタイム配信

公益社団法人 空気調和・衛生工学会 事務局
TEL: 03-5206-3600 / FAX: 03-5206-3603
Email: handa@shase.or.jp
大会事務局担当: 半田・小池

司会 野部達夫 (工学院大学)
小瀬博之 (東洋大学)

趣旨説明

柳 宇 (工学院大学)

総論

新型コロナウイルス感染対策としての
空調・衛生設備の運用について

倉渕 隆 (東京理科大学)

各論

国内におけるクラスター感染空間の空調換気性状
林 基哉 (北海道大学)

国外の集団感染事例
尾方壮行 (東京都立大学)

衛生設備分野での課題総括と今後の課題
大塚雅之 (関東学院大学)

空調機・空気清浄機でのエアフィルタによる空気清浄化
鍵 直樹 (東京工業大学)

紫外線による殺菌
柳 宇 (前出)

住宅において感染リスクが生じた場合の換気対策
山本佳嗣 (東京工芸大学)

総合討論

司会 大岡龍三 (東京大学)

まとめ

田辺新一 (早稲田大学)